

深地層の研究施設を使用した試験研究成果に基づく 当該施設の利用促進事業費補助金

資源エネルギー庁電力・ガス事業部
放射性廃棄物対策課

令和6年度概算要求額 **1.6億円（1.6億円）**

事業の内容

事業目的

地層処分に関する研究を進める上で「深地層研究施設」は極めて重要な施設であるとともに、同施設に対する地元住民の理解が必要不可欠である。

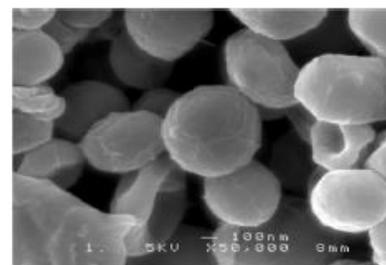
将来、深地層研究施設が実際の最終処分施設になってしまうのではないかと地元住民等の不安払拭のため、当該施設を有効に活用した学術的研究に対して継続的に補助を行い、研究成果を通じて地元や関連分野に貢献することで、当該施設に対する地元住民等の不安を払拭するとともに、研究開発への理解促進を図ることを目的とする。

事業概要

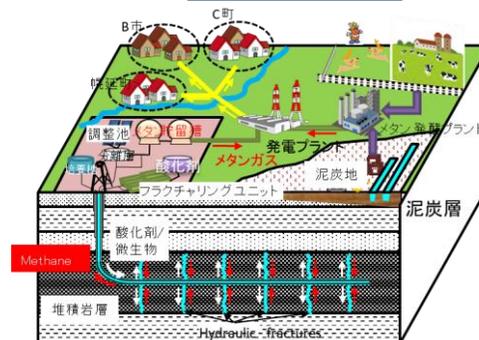
これまでに、堆積岩中の微生物に関する研究、微生物の働きにより二酸化炭素（CO₂）をメタン（CH₄）に変換する技術の開発等を実施している。

当該施設を活用した学術研究を促進し、CO₂の削減に寄与する可能性のある技術開発を行うことで、深地層の研究施設に対する地元等の理解を促し、高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する研究を円滑に実施する。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



メタンガスを生産する新種の微生物の顕微鏡写真



泥炭層に微生物を注入し、メタンガスを生産する地域エネルギーモデル

深地層の研究施設等を活用した微生物に関する研究のイメージ

成果目標

平成15年から令和10年までの26年間の事業であり、短期的には、深地層の研究施設を活用した成果を学会や論文等で発表し、関連学術分野に貢献する。
長期的には、深地層の研究施設を活用した成果を通じて地域に貢献し、深地層研究への地域理解を促進する。